

学校法人 滋慶学園 福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【令和4年6月16日実施】

令和3年度自己点検自己評価(令和3年4月1日～令和4年3月31日)による

学校関係者評価委員氏名【 】

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評 価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切に対応・・・4 ほぼ適切に対応・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			適切に対応・・・4 ほぼ適切に対応・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	
1 教育 理念・目的・ 育成人材像	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	4	【1-1-1】 滋慶学園グループ・福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校としての理念・目的育成人材像はしっかり定められている。 【1-1-2】 ウェディング・ホテル・エアーライン・観光及びホスピタリティ業界に求められる人材育成の為に、開校以来、様々な業界と産学連携教育を実施。業界で求められる技術・知識など「実学教育」また、あいさつやコミュニケーション力、社会で職業人になる為に必要な身構え・気構え・心構えを身に付ける「人間教育」、国際的な感性を養う「国際教育」を実践し業界等の人材ニーズに適合させている。 【1-1-3】 産学連携教育・企業プロジェクトとして企業から課題を頂き考えプレゼンテーションし新しい価値・商品を創造する教育、また実際に接客などの実体験として学べる教育に取り組んでいる。 【1-1-4】 コロナの影響でホスピタリティ業界は大きな影響を受け、人の移動・集合等の行動制限がかかり、これまでの結婚式・旅行・ホテルなどの仕事に大きな影響があった。しかし、新しい価値として、少人数での結婚式や旅行など新しい商品もうまれてきて、仕事の内容、形態も変化してきた。 更に2025年に予定されている大阪万博、各地のIR事業に向け、国内にはホテル建設ラッシュも始まっており、それらには新しい人材が必要になることが明確。 中でも外資系ホテルが多く建設されることや、これからの日本における国際性の大切さも視野に入れ、より、英語教育とホスピタリティ教育を強化した人材育成が必要と考える。	「学校法人滋慶学園グループ」 昭和51年の創立以来、「職業人教育を通じて社会に貢献する」ことをミッションに掲げ、全国に専門学校・教育機関を設置し、業界で即戦力となる人材育成のため、建学時から変わらない「3つの理念」(実学教育、人間教育、国際教育)と「4つの信頼」(業界からの信頼、高校の先生からの信頼、学生・保護者からの信頼、地域からの信頼)を実践することで、理想の教育を目指す。 目指せる職種は500以上、北海道から福岡まで83校を有する。 「実学教育」 スペシャリストが求められる時代に即し、業界に直結した専門学校として、即戦力となる知識技術を教授する。ひとり一人の個性を活かし、それぞれの業界で力が発揮できるように構築された『滋慶学園グループ独自の教育システム』。 「人間教育」 開校以来、『今日も笑顔で挨拶を』を標語に掲げ、他人への思いやりの気持ちやコミュニケーション能力、リーダーシップがとれる対人スキル等を身に付け、同時にプロ・社会人としての身構え、心構え・気構えを養成する。 「国際教育」 コミュニケーション言語としての英語を身につけるだけでなく、日本人としてのアイデンティティを確立した上で、広い視野でモノを捉える国際的感性を養う。 ◆福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校としてのコンセプト 「ホスピタリティ」「ホテル」「観光」「ウェディング」「エアーライン」業界とともに圧倒的なホスピタリティ・英語教育を通して、業界に求められる人材育成を行う。学生ひとり一人を大切に、卒業後の未来創造とスタッフひとり一人が学生、職員間すべてに思いやりを持ち考え行動する組織。	3.8	・この業界では、コミュニケーション能力が重要であると思う。 コロナの2年間を取り戻すような活動を期待する。 ・進級時等、進路変更する学生の状況をフィードバックしてほしい。 ・本校理念に基づき育材教育が進められ、評価に値する。
	1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか					
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか					
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱えているか					
2 学校 運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4	【2-2-1】 運営方針は、滋慶学園の理念に沿って定めている。 【2-3-1】 理念等を達成するために5年後を見据えた年度毎の事業計画を定めている。 【2-4-1】 本校の運営方針や収支予算・決算などは滋慶学園の理事会において承認を受け適切に運営を行っている。 【2-4-2】 人員構成、組織図、職務分掌を毎年の事業計画の中に作成し、役職毎の職責内容や職務権限を明確にしている。また滋慶学園グループの中期・短期の事業計画に沿って採用を行い、定期的にJESC(滋慶教育科学研究所)によるFD研修やグループ・学校主催の様々な人材育成のための研修を行っている。 【2-5-1】 人事・給与に関しては法人総務部と滋慶サービスで制度を確立しており、人事データベースシステムや勤怠管理システムなどを活用しながら働き方改革にも取り組んでいる。 【2-6-1】 意思決定システムはプロセスに応じた会議・決裁者・最終決裁者を設定している。様々な目的により会議や委員会などを定期的に実施し滋慶学園グループの方針の確認・共有や企画立案、状況報告、連絡相談の場を設けている。 【2-7-1】 情報システム化について、滋慶学園業務システムを構築し、一人ひとりの学生が学園の資料請求から入学、在学中の出欠管理、カウンセリング内容、就職までの情報を一元化している。総務・経理では勤怠管理システムや予算管理システムを導入し業務の効率化を図っている。	■事業計画書の内容は以下の通り Ⅰ．組織の目的 Ⅱ．組織の運営 (1)計画体系 1．運営方針 2．目標(定量的目標、定性的目標) 3．実行方針 4．実行計画 人員構成 ① 組織図 ② 職務分掌 ③ 人事採用計画 ④ 広報計画 ⑤ 広報年間計画 ⑥ 学科・専攻のイノベーション ⑦ 新規事業 ⑧ 年間スケジュール (2)仕組みとルール 1．インセンティブシステム 2．業績評価システム 3．意志決定システム Ⅲ．5年後の将来 Ⅳ．自己点検・自己評価 更に単年から5年後の収支予算書を持って事業計画書としている。 本校における事業計画は、広報・教務・就職など、学校における全ての部署について立案され、コンセンサスを取る為、全ての部署が同じ方針・同じ考え方をもって、全スタッフ協力の下、目標達成に向けて学校運営がなされる。 学校全体の運営あるいは各部署の運営が正しく行われる為に、様々な研修や会議が設けられ、この研修・会議を通して各個人の目標設定や業務への落とし込みを行い、また、方向性や位置づけ等を常に確認できるシステムを構築している。	4	・コロナ禍での対応等評価に値する。
	3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか					
	4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか					
	4-2 学校運営のための組織を整備しているか					
	5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか					
	6-1 意思決定システムを整備しているか					
	7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか					

【令和4年6月16日実施】

学校関係者評価委員氏名 【 】

資格合

学校法人 滋慶学園 福岡ウェディング&ホテル・IR専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【令和4年6月16日実施】

令和3年度自己点検自己評価(令和3年4月1日～令和4年3月31日)による

学校関係者評価委員氏名【 】

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評 価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切に対応・・・4 ほぼ適切に対応・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			適切に対応・・・4 ほぼ適切に対応・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	
5 学 生 支 援	16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	【5-16-1】 専門分野での就職を第一に考え、就職の専門部署であるキャリアセンターを設け、専門スタッフが個別指導から就職イベント開催まであらゆる就職支援を行っている。また、インターネットによる求人アクセスや情報のメール送信、就職指導ノートの作成まで、情報、ノウハウ体制の確立を行っている。	【就職等進路】 企業を校内へ招聘する「合同企業説明会」「単独企業説明会」や等の就職イベントを開催。 また、業界研修指導まで、学生の為のあらゆる支援として、キャリアセンターが独自の活動を行っている。 【学生相談】 平成24年度から滋慶学園福岡8校で統一で運営し、滋慶トータルサポートセンター福岡として運営を行っている。ここは専用の場所を学校とは別の場所に設け、相談しやすい環境を整えている。また自習スペースもここに設けて、学校に來れないような学生が、ここで学習することが出来る環境を整えている。また法にのっとり、必要であれば合理的配慮も行っている。 【経済支援】 日本学生支援機構の奨学金紹介のみならず、高等教育の修学支援制度、学園としての滋慶奨学金を用意している。また、災害支援策も行っており、熊本震災の被災者に関しては学費減免措置を実施。 【健康管理】 慶生会クリニックは、学生であれば診療料は、学生の健康管理費から負担されるため、何度でも安心して受診することができる。 【課外活動】 姉妹校連携クラブ活動だけでなく、学生発案による同好会も発足しており、活発に活動している同好会も多くある。 【生活環境支援】 学生及び保護者から費用が高額であるとの意見が多く、全室埋まらない寮がある。設備やサポート等、費用以上の価値をもっと伝えていく事が重要である。 【保護者との連携】 担任は日頃から学生だけではなく、保護者とも連絡をとるように心がけています。また、保護者会、三者面談等も実施し、常に保護者と適切な連携をとることを重要と考えている。今後は入学前からの連携も必要と考える。このようなことが、退学率の低減に結びついていると考えている。 【卒業生・社会人】 就職後の状況確認を行い、奨学金返還のサポートや再就職のサポートを実施している。また、全国の求人を姉妹校と連携していますので、広い視野での転職サポートも可能です。 【その他】 高等教育修学支援制度の対象機関として認定を受けている。	4	・学生への金融教育、デジタル教育が課題。 ・コロナの影響で通常の状況以上に悩みを抱えてる学生も多いと思うので、紹介にあった「メンター制度」は学生に寄り添うという意味でとても効果的だと感じる。
	17-1 退学率の低減が図られているか		【5-17-1】 本校は担任制度を引いており、担任を中心にポートフォリオや個別面談等を駆使して一人ひとりの学生に対して細やかな支援を行っている。また、退学理由の分析や退学防止対策、成功事例などについて研修や勉強会を随時実施し担任力の向上を図ると共に、滋慶学園グループ独自の支援機関や支援制度を活用して退学率の低減に努めている。			
	18-1 学生相談に関する体制を整備しているか		【5-18-1／5-18-2】 学生の相談については、基本的には担任が行うが、担任にも相談できないと考える悩みはJTS(滋慶トータルサポートセンター)という部署を設け、その解決にあたっている。留学生に対しては、担当を設け、在籍管理や生活指導を行っている。			
	18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか		【5-19-1】 学生支援機構の奨学金のほか、学園グループ独自の奨学金として、「滋慶奨学金」を用意している、また「学費サポートプランのご案内」の冊子を作成すると共に、分納や延納などすべての経済的支援ができるように努めると同時にデータの管理もコンピュータ管理できている。			
	19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか		【5-19-2】 健康診断の他に、健康面をサポートする目的で学校グループで慶生会クリニックという歯科、内科の2診療科目のクリニックを運営している。			
	19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか		【5-19-3】 グループ企業のジケイスペース㈱により、専用寮を運営・管理しており、学生指導をはじめ、利用状況や充足数などの情報も明確になっている。			
	19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか		【5-19-4】 福岡の姉妹校合同でクラブ活動に取り組んでおり、予算管理から引率や大会への参加や年間の成績管理などクラブ活動担当者により行われている。			
	19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか		【5-20-1】 保護者から大切なお子様を預かって育てているということを忘れず意識し、保護者への連絡と連携が重要である。本校では、4つの信頼というコンセプトを掲げているが、「学生・保護者の信頼」として、保護者の信頼を得ることもその1つであり、そのためには適切な連携をとることが重要である。			
	20-1 保護者との連携体制を構築しているか		【5-21-1】 学校の評価は、卒業生が業界で活躍することに直結するため、まずは卒業生の卒業動向をしっかりと管理できる体制が必要である。そのための同窓会組織を作り、年に一回同窓会総会を実施して情報収集や卒業生間の交流を図っている。2021年度に関しては、コロナの問題で開催を断念せざるを得ない状況でした。			
	21-1 卒業生への支援体制を整備しているか		【5-21-2】 卒業生に対する支援としては、定期的・継続的に卒業教育を実施すると共に、年1回同窓会を実施し、情報の共有を図っている。			
	21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか		【5-21-3】 社会環境の変化に応じて、常に学科、コース、教育内容等のイノベーションを図り、社会のニーズを踏まえた教育環境を整えている。			
	21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか					
6 教 育 環 境	22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	【6-22-1】 施設、設備は、業界の実情に合わせたものと、最新の機材を取り入れて、授業使用において学生に十分に用意されており、不足があれば毎年の設備計画の中で充足が計られている。また、設備点検や補修なども、サポート企業と密接に提携した上で、毎年必要に応じた整備がなされており、そのための予算の確保も長期的な計画をたてて問題なく運営されている。	【施設・設備等】 学園グループの関連企業のジケイスペース㈱は、学校施設の環境・衛生・点検・補修・改修を担う企業であり、予算を含めて単年から中・長期的な観点で学校のサポートを行っている。また同じ㈱ピスタアーツはPC環境メンテナンスにおいて常に学校と共に整備を行っており、学生の学習環境を支えている。 【学外学習、インターンシップ等】 インターンシップは単なる学習効果だけではなく、社会人としての意識の向上につながっており、また学生本人が自身のスキルをプレゼンテーションする場となっている。また協力企業においても人材確保の機会として協力をいただいております。毎年インターンシップから多くの内定が生まれている。 また、海外実学研修は、スイス提携校、ハワイ提携校のもとに国際教育の一環として毎年実施している。 【防災・安全管理】 防災訓練は学内で行うだけでなく、福岡市と連携し近隣のコンベンションセンターでの実施や、関係機関からの特別講習も行い、行動のみならず、心構えの面でも多くの対策を実施している。	4	・評価に値する。
	23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか		【6-23-1】 学外実習、インターンシップ、海外研修は十分な体制をひいており、学生への案内も周知徹底し、研修後の教育効果の確認も出ている。 また、それぞれの業界のプロとして、現場経験豊富で高い技能を有した優秀な人材を常に発掘して、講師として就任して頂いている。			
	24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか		【6-24-1】 防災計画を策定し、それに基づいて防火管理者を始めとして防災組織体制を構築している。また、年2回の避難誘導訓練を実施すると共に、ゲリラ豪雨や竜巻、地震など異常気象に備えて、学生の危機意識の確立を図って安全確保に努めている。			
	24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか		【6-24-2】 安心安全な教育環境を学生に提供するために、自転車安全講習、薬物乱用防止講習、悪徳商法被害防止講習、女性犯罪被害防止講習など様々な安全講習を実施している。また、コロナ禍に伴い学生は実習など必要に応じてフェイスシールドも使用。トイレや手すり等公共で使用する場所は専門業者にて除菌実施。(2回/日)			

学校法人 滋慶学園 福岡ウェディング＆ホテル・IR専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【令和4年6月16日実施】

令和3年度自己点検自己評価(令和3年4月1日～令和4年3月31日)による

学校関係者評価委員氏名【 】

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評 価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切に対応・・・4 ほぼ適切に対応・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			適切に対応・・・4 ほぼ適切に対応・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	
7 学 生 の 募 集 と 受 け 入 れ	25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	2	【7-25-1】 高等学校等への情報提供窓口として専任の担当者を設けている。また、定期的・継続的に高校訪問を実施しているほか、各種媒体、入学案内パンフレット、各種ガイダンス、オープンキャンパス、ホームページなどを活用して、適宜適切に正しい情報をの提供に努めている。	＜入学選考の種類＞ AO入試 高等学校推薦 指定校推薦(指定校のみ実施) 一般入試(専願・併願) 社会人入試 ＜入学者選抜における配慮＞ ・願書の記載事項、面接での質問等を適正に行うための研修 ・障害のある受験者、LGBT等に配慮した選考 【学生募集活動】 ・学校認知強化 ・Web・ガイダンスからの資料請求者獲得 ・進路決定の早期化に対応すべく高校2年生以下へアプローチ ・校内、会場ガイダンス等、志望者との直接的な接触を重点に、そこからイベント参加者を獲得 ・高等学校からの信頼獲得(高校先生説明会、高校&部活動支援等) 【入学選考】 ・進路選択早期化に応じ、本人の意欲を重視するAO入学を実施 ・出願者本来の目的意識を引き出すための面接を実施 ・遠方からの出願者に向け、各地方選考会を開催 ・障害者差別解消法の実践の一つとして、入学予定者の合理的配慮の対応を滋慶学園本部組織の滋慶トータルサポートセンターと連携して実施している。 【学納金】 ・募集要項に卒業までに必要な学納金をすべて明示 ・学費サポートプランのツールを用意 ・学費ファイナンシャルプランナーを配置し、個々の状況に応じた対応 ・修学支援制度を積極的に告知し使用している。	2.6	・高校校内でのオープンキャンパスは実施してはいかがでしょうか。
	25-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか		【7-25-2】 本校は、福岡県専修学校各種学校協会に加盟し、高等学校と同会の定めたルールに基づいた募集開始時期、募集内容を遵守している。高等学校内での進路ガイダンスや職業理解セミナー、進学サイトやホームページ、オープンキャンパス、MYスクール(プレカレッジ)にてキャリア形成支援と入学前教育を適切かつ効果的に行っている。			
	26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか		【7-26-1】 入学募集要項に入学選考基準を明確化しており、適切に運用している。入学選考は学力審査ではなく、作文と面接による将来の仕事や目標などを明確にできているか等、目的意識の確認を行っている。			
	26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか		【7-26-2】 入学選考に伴う面接や高等学校調査書において収集した情報・実績を把握・活用し、授業改善に努めている。			
	27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか		【7-27-1】 授業や実習内容、その他の経費に対応した学納金になっている。			
			【7-27-2】 入学辞退者の授業料等については、3月31日までに入学辞退の申し出があった場合は、入学金を除き学費等を全て返還している。しかし、4月1日以降は、最高裁の判例に基づき、海外研修積立金などの預り金以外は、返金できない。また、このことは、学生募集要項に於いて、「学費一覧」ページに明記している。			
	27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか					
8 財 務	28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	【8-28-1】 毎年5か年の事業計画を作成し、中長期の視点で5か年の収支予算を立てており、財務基盤は安定している。	予算を正確かつ実現可能にするために以下のような取り組みを行っている。 ①単年度の予算を綿密に作成している。 予算は、事業計画の時点で、各部署ごとの予算から、予算項目別に細かく分類し、執行に関しても全て事前に、事務局長承認と常務理事承認が必要で、金額によっては、本部承認を得る流れとなっている。また消化金額は毎月の学内チェックと、サポート企業による3ヶ月ごとの修正と評価を受ける。 ②中長期(5ヶ年)での予算計画も組まれており、特に設備造作における改装や改築などの大掛かりな支出が想定されるものは長期で計画を行っている。 また、私立学校法上義務付けられている「監事による監査」を受けているが、それに加えて、補助金対象ではない当学校において「公認会計士による監査」も受けている。これによって適正な計算書類の作成とその信頼性の確保に努力している。 「財務情報の公開」については、規程と「情報公開マニュアル」に則して、情報公開に対処している点が特徴として挙げることができる。	4	・評価に値する。
	28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか		【8-28-2】 5か年計画及び単年度事業計画に基づいて、滋慶学園本部、法人本部、学校がそれぞれの立場から財務分析を行っている。			
	29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか		【8-29-1】 5か年の予算は、中長期を見越した新学科構想、施設・設備構想、人員構想等を考慮して支出を計画し、将来の学生数等を鑑みながら収入を予測し、収支計画を作成している。			
	29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか		【8-29-2】 予算の執行管理は計画的に行っている。4期に分け見直しを行っており、予算と執行金額との乖離がある場合は修正予算を組む。			
			【8-30-1】 学園本部と法人本部の二重チェックの体制となっており、学校の財務体制をしっかりと管理し、健全な学校運営ができている。また収入と支出のバランスは、理事会で毎年確認されている。さらに、監査は私立学校法上義務付けられている監事監査のほか、公認会計士による監査も受けている。			
	30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか					
	31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか		【8-31-1】 私立学校法に基づいて、ホームページで財務情報を公開している。現在 は、令和元年度財務情報を記載しているが、決算理事会終了後の7月中旬を目途に、令和3年度財務情報に更新予定。			

学校法人 滋慶学園 福岡ウェディング＆ホテル・IR専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【令和4年6月16日実施】

令和3年度自己点検自己評価(令和3年4月1日～令和4年3月31日)による

学校関係者評価委員氏名【 】

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評 価	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切に対応・・・4 ほぼ適切に対応・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			適切に対応・・・4 ほぼ適切に対応・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	
9 法令等の遵守	32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	【9-32-1】 法令遵守については、滋慶学園グループ全体の方針として掲げ、各校の教職員全員でその方針を理解し、実行に努めている。法人理事会のもとに、コンプライアンス委員会で学校運営が適切かどうかを判断し、また学校運営が適切かどうかは各組織体制でチェックできるようにしている。 【9-33-1】 学校が保有する個人情報(資料請求者、在校生、卒業生、教職員、講師、実習先など)は個人情報保護法に基づいて、厳格に管理・保護されている。 【9-34-1】 自己評価は毎年中間評価と年度末の自己評価を実施する体制を整備し、評価を行っている。 【9-34-2】 自己評価結果は毎年ホームページにて公表している。 【9-34-3】 年に1回学校関係者評価委員会を開催し、評価・ご意見をいただいている。 【9-34-4】 学校関係者評価結果は毎年ホームページにて公表している。 (本校HP情報公開 学校関係者評価委員会) 【9-35-1】 教育に関する情報公開はホームページやパンフレット、SNSや学校新聞などに随時掲載している。	<法令順守に係る組織体制・システム> ◎組織体制 ①財務情報公開体制(学校法人) ②個人情報管理体制(滋慶学園グループ) ③広告倫理委員会(滋慶学園グループ) ④進路変更委員会(滋慶学園グループ) ◎システム(管理システム) ①個人情報管理システム(滋慶学園グループ) ②建物安全管理システム(滋慶学園グループ) ③防災管理システム(滋慶学園グループ) ④部品購入棚卸システム(滋慶学園グループ) ⑤コンピュータ管理システム(COMグループ) 学内にコンプライアンス委員会を設置し、厳格なコンプライアンスの遵守に努めている。委員長は、統括責任者である法人の常務理事が就任し、委員は 学校の現場責任者である事務局長と実務責任者の教務部長で構成される。 主な任務は、行動規範・コンプライアンス規程の作成、コンプライアンスに関する教育・研修の実施、コンプライアンス抵触事案への対応及び再発防止対策の検討・実施、コンプライアンスの周知徹底のための啓発活動の推進である。 監事による毎年の監査に際して、業務監査の対象としてコンプライアンスの実施状況についても監査してもらっている	4	
	33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか					
	34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか					
	34-2 自己評価結果を公表しているか					
	34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか					
	34-4 学校関係者評価結果を公表しているか					
	35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか					
10 社会貢献	36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	【10-36-1】 近隣の子供会と連携した、ハロウィンイベントを実施。 コロナ感染の問題もある為、館内ではなく、地域の子供たちがハロウィンの仮装をして本校を訪れお菓子のプレゼントと学校玄関に隠されたキーワードを集めてクロスワード形式で謎解きを行うイベント実施。 【10-36-2】 留学生を対象とした学校見学会などを実施していたが、昨年はコロナの問題で実施を見合わせた。 社会的な様子をみながら今後の開催を検討したい。 【10-37-1】 障害者の方々へのドレス試着など、コロナ前までは活動出来ていましたが、今年度は学外、また他者を巻き込んだの活動は出来ていない状態。 今年度は地域の清掃活動など、コロナ感染と直接的に影響のないボランティア活動に尽力したい。	産学連携教育の一環で取り組む「企業プロジェクト」は毎年、企業からの制作依頼で取り組んでおり、一つの社会貢献・地域貢献となっている。 2021年度実績 ・有限会社クロフネブライダル:結婚式のプロデュース ・高見株式会社:福岡でTAKAMIBRIDALの知名度を上げるアクションプラン ・ホテルマリノアリゾート:福岡県民宿泊プランの企画 ・福津市地域振興課:かがみの海を通じたPRの提案 ・株式会社ベッセルホテル:宿泊新プランの企画考案 ・株式会社ソニックススポーツ飯塚リトリート:グランピング施設ホテル棟観光プランの提案	3.3	・コミュニケーション能力を高めるなどの人間力向上のためには、社会・地域貢献活動が重要であり、今後とも充実してほしい。 ・コロナの状況も落ち着きつつある為、今年度はより社会貢献活動に尽力いただきたい。
	36-2 国際交流に取り組んでいるか					
	37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか					